



第1回もりメイトキッズを開催しました。

★開催日：5月31日（日曜日） 参加人数 36名 スタッフ 18名

★テーマ：みんな生きている・みんなで森と未来をまもろう



しずく役の坂田さん(左)と雲役の平田さん

すがすがしい天気の中、今年度初の「もりメイトキッズ」を開催いたしました。今年度は水を主なテーマにしていますが、森と水の間関係を分かりやすく説明するため劇を行い、坂田さんの「しずくちゃん」、雲の平田さん、解説をする吉村さんで渾身の演技で水の循環を促すために森を整備し環境を整えることが大切だということを伝えました。また、参加者に自然を親しんでもらう



樹木クイズ

ために、スタッフが考えた樹木に関するクイズを出題しながらキッズフィールドを探索しました。青々とした新緑のイロハモミジを観察したり、スノキの葉っぱを噛んで味見をするなど、植物の特性を知ることによって驚きや発見、楽しさを感じ、よりいっそう自然に興味や関心をもってもらえたらと、思っています。



フィールド内の植物に触れるキッズ



葉を観察するキッズ



スタッフから説明を受けるキッズ

未就学児の子供たちは会報誌で「ひと枝」を描き続けた原田澄さんに植物の説明を受けながらフィールドを探索した後、昼食の炊きこみご飯の型押しにチャレンジ。青々とした大きな大きなカシワの葉の上に、間伐材で作った木枠に炊き込みご飯をぎゅーっと詰めて上から押し出し、四角い形に整えました。



原田さんから説明を受けるキッズと保護者



炊き込みご飯の木枠押し体験を行うキッズ

午後からは、初挑戦の水辺の雑木の整備を行いました。整備前は小川の姿もうっすらしか見えていなかったのですが、みんなで手分けして岸边や水辺の雑木を伐ったおかげで、見る見るうちに小川の姿がはっきり表れ、「カニがいる」「きれいな石みつけた」「橋をかけたい」など今まで見えてなかったものが見えて、楽しい歓声が聞こえました。次回はきれいになった小川でクラフトなどのワークショップが出来たらいいな、と、思っています。

↓下の写真は、いずれも午後からのプログラム、水辺での活動の様子です。

環研部会長 佐々木 綾子



子供たちと触れ合うことに興味があり参加しました。今まで携わった皆さんが整備して拓けたキッズフィールドを見て、感動しました。これからも子供たちと一緒に整備していきたいと思えます。【河村 吉則】

